



アマゾン経済パネル

ご案内: こちらは特別版であり、全文は会員限定でご覧いただけます。

マナウス工業団地の潜在的 価値

著者

André Ricardo R. Costa

補佐

Almir Corrêa A. Samad
Lucas Almeida

CIEAM運営

Luiz Augusto Barreto Rocha

最高評議会議長

Lúcio Flávio Morais de Oliveira

執行役員

2025年のアマゾナス州経済とマナウス工業地帯の業績

全体的なパフォーマンス：ブラジル中央銀行は通常、各州の経済パフォーマンス指数を、2022年の生産平均を基準（100）として、約2か月の遅れで発表します。

アマゾナス州に関しては、IBCR-AM 指数が該当し、現在は名目値で108.69、季節調整済みの値で111.28を記録しています。

グラフ07は、この指標の最近の推移を示しており、2025年の第1四半期（青）と2024年の第1四半期（赤）を比較しています。

グラフ08と09は、アマゾナス州（青）とブラジル全体（緑、IBC-Br）とのパフォーマンスを比較しています。

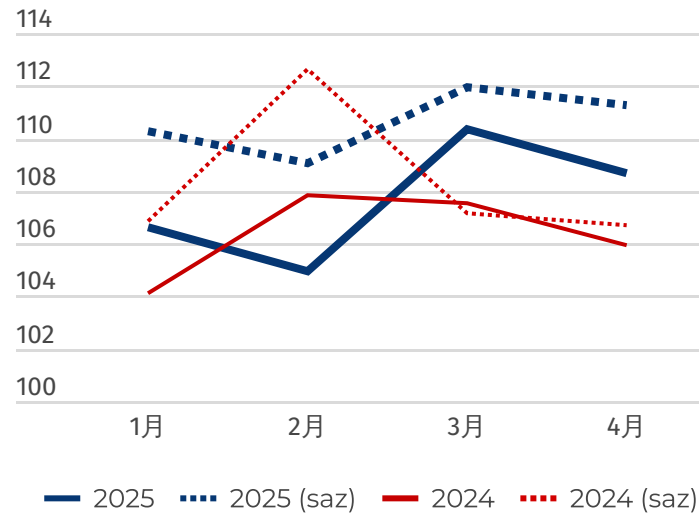
グラフ08は、2003年以降の月次データを用い、アマゾナス州の経済がブラジル全体の経済と概ね同様に推移していることを示しています。

グラフ09では、過去12か月の指数の累積変化を比較しており、アマゾナスに有利なわずかな差が見られます。

視点によっては、アマゾナスのパフォーマンスはさらに高かったとも考えられます。その理由は、IBCR-AM 指数がIBGEの部門別調査に基づいており、各製品に異なる重みを与えているためです。たとえば、製油所の生産では、ディーゼルがガソリンよりもはるかに高い重みを持っています。

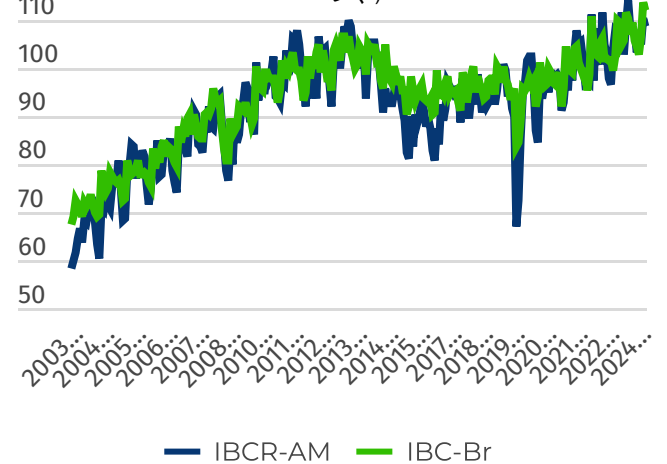
グラフ07：IBCR-AM（アマゾナス州経済活動指数）

出典：著者（ブラジル中央銀行 Bacen のデータに基づく）



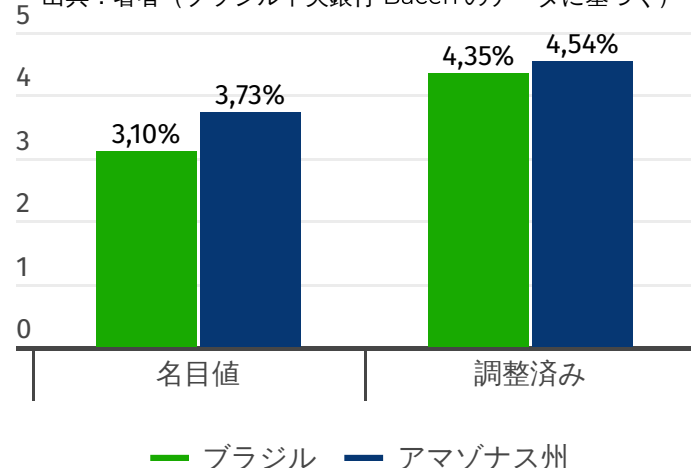
グラフ08：IBC-Br および IBCR-AM（全国およびアマゾナス州経済活動指数）

出典：著者（ブラジル中央銀行 Bacen のデータに基づく）



グラフ09：IBC-Br および IBCR-AM（12か月累積）

出典：著者（ブラジル中央銀行 Bacen のデータに基づく）



2025年のアマゾナス州経済とマナウス工業地帯の業績

部門別データ

マナウス工業地帯（PIM）と並行して、あるいはそれを支援またはその結果として、アマゾナス州の経済は商業およびサービス分野で力強い実績を示しています。ここでは、一般的に規制機関によって提供される最新かつ詳細なデータを紹介します。

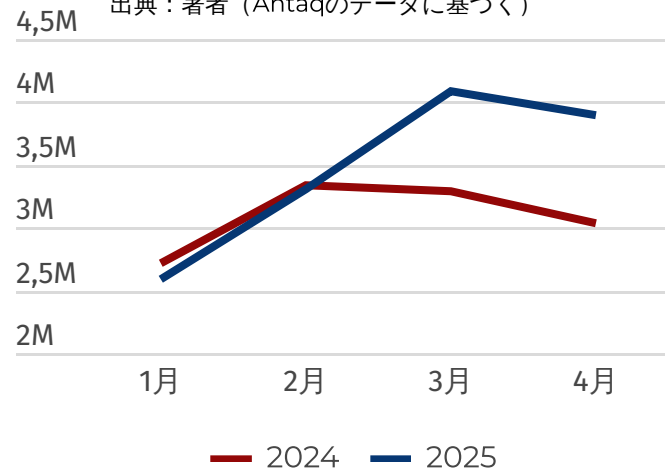
サービス分野において、アマゾナス州はマナウスの産業に対し、ブラジル最大級のコンテナ貨物向け河川港を2つ提供しています。また、イタコアチアラには中西部のアグリビジネスからのバラ積み貨物用の港が2つあります。グラフ10はこれらの港の実績を2025年と2024年で比較してまとめています。

産業のもう一つの支援として、マナウスにはブラジルで2番目に大きな貨物空港があり、主に電子機器やIT製品、化学品、医薬品、生鮮品など高付加価値商品に利用されています。グラフ11はこの空港貨物の最近の動きを示しています。

商業の指標として、グラフ12はアマゾナス州における燃料販売量（立方メートル単位）の最新の推移を示しています。燃料販売は、小売業の参考として（乗用車の給油）、また他の経済活動（航空機、船舶、バス、トラックへの給油）を支える指標ともなります。

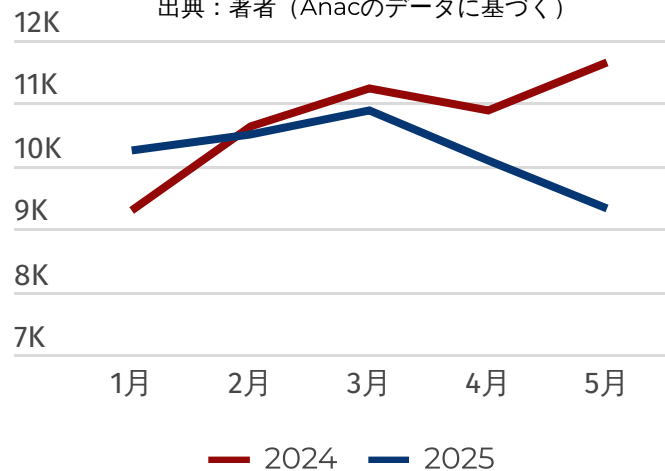
グラフ10：アマゾナス州の港湾取扱量
単位：百万トン

出典：著者（Antaqのデータに基づく）



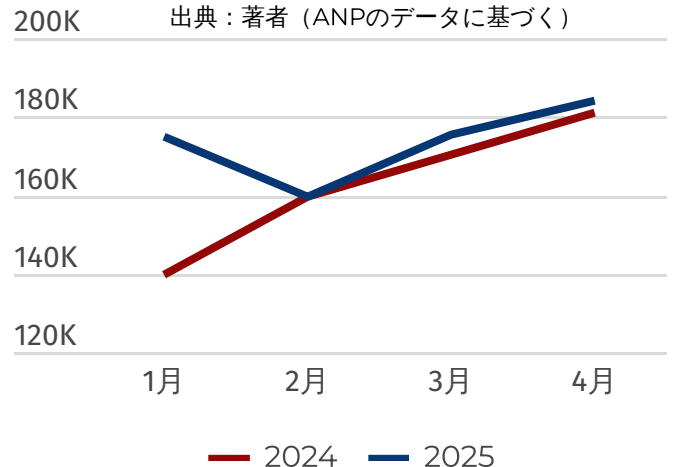
グラフ11：アマゾナス州の空港貨物取扱量
貨物量：千トン単位

出典：著者（Anacのデータに基づく）



グラフ12：アマゾナス州の燃料販売量
単位：立方メートル

出典：著者（ANPのデータに基づく）



2025年のアマゾナス州経済とマナウス工業地帯の業績

○ 部門別データ (パート2)

炭化水素チェーンは、アマゾナス州経済において最も最適化と高度化の可能性が高い分野の一つです。アマゾナス州は、ブラジルにおける石油とガスの探査、精製、流通の先駆者です。

同州には製油所があり、2023年8月には247,000立方メートルという記録的な生産量を達成しました。しかし、2024年半ば以降、生産量は減少しており、現在は67,000立方メートルです。

アマゾナス州の石油は非常に高品質で、API度数60°に達することがあります。現在の生産量は約54,000立方メートルで、グラフ14に示された最近の実績によります。主な生産地はコアリ市で、同時に州内で最も重要な天然ガスの生産地でもあります。

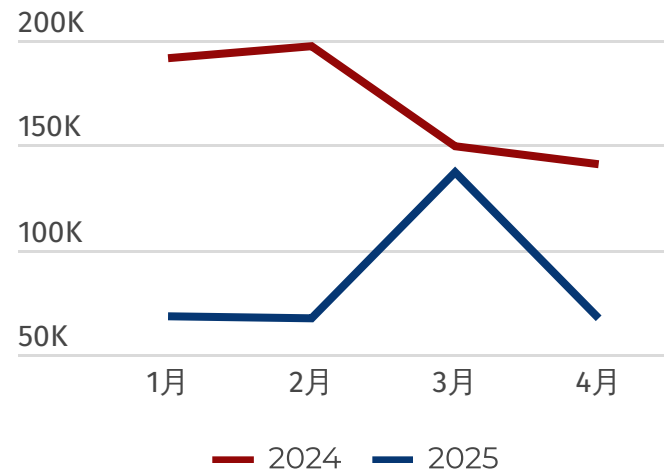
コアリ産の天然ガスは、化石燃料の中でも最もクリーンかつ安全なエネルギー源をアマゾナス州にもたらしめています。現在はシルヴェスでの新たな生産も加わり、合計で4億3800万立方メートルに達しています。

コアリのガスはパイプラインを通じてマナウスの火力発電所に供給されています。将来的な需要増に備え、新たなガス配管および発電・配電インフラが建設中です。

グラフ13：アマゾナス州の石油製品生産量

単位：立方メートル

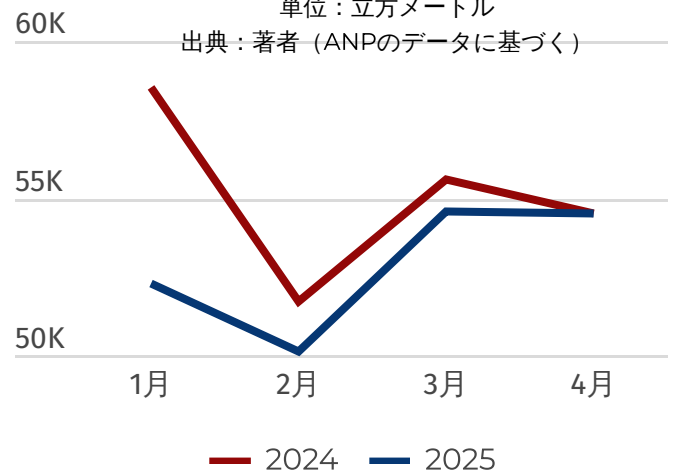
出典：著者（ANPのデータに基づく）



グラフ14：アマゾナス州の原油生産量

単位：立方メートル

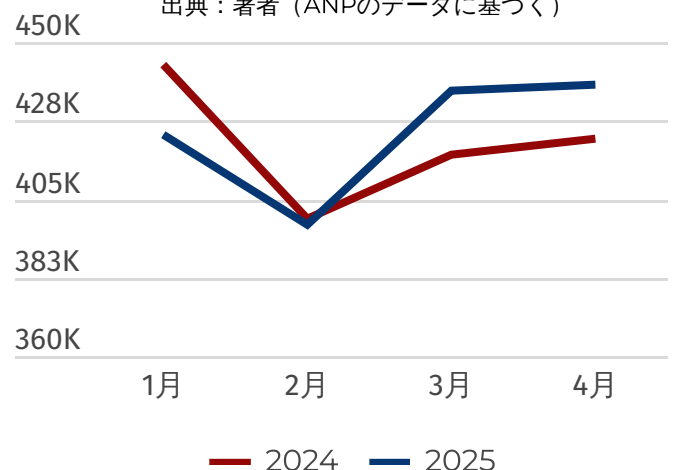
出典：著者（ANPのデータに基づく）



グラフ15：アマゾナス州の天然ガス生産量

単位：千立方メートル

出典：著者（ANPのデータに基づく）



2025年のアマゾナス州経済とマナウス工業地帯の業績

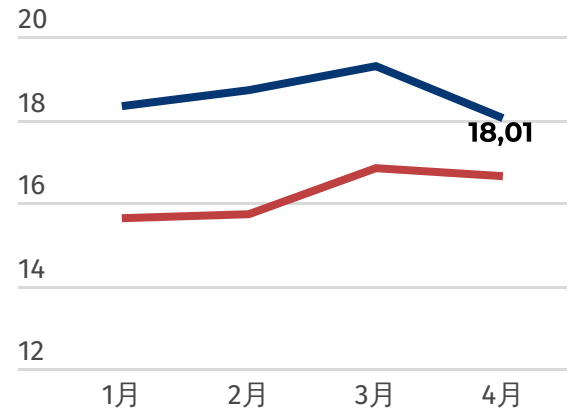
グラフと表を通じて、PIM企業の売上高の推移（総計および部門別）を、2025年最初の4か月（青線）と2024年同期間（赤線）で比較しています。データはスフラマ（Suframa）によるものです。

この報告書は、2025年にPIMの売上が450億米ドルを超える可能性があるという見通しから始まります。この楽観的な見方は、PIMが第1四半期に見せた驚異的な実績によるもので、売上は2024年同期間比で17%増加し、統計開始以来最高の年初を記録しました。

4月には総売上がわずかに減少し、18億リアルで6.6%の減少となりました。これは主に、祝日であるイースターにより稼働日数が減少したためです。

年内は再び好調な軌道に戻ると予想されています。

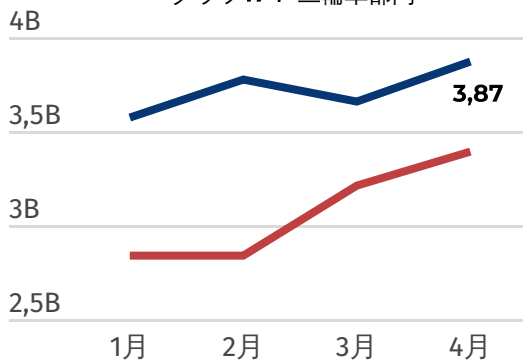
グラフ16：PIM総額（単位：10億リアル）

表02：その他の部門の注目点
売上高の変動

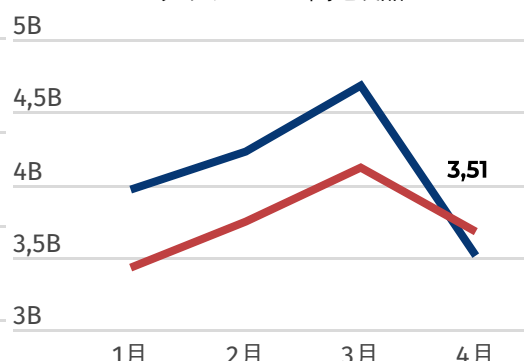
部門 | 2025年3月比 | 2024年4月比

部門	3月比変化率	4月比変化率
造船	103.12%	-0.61%
出版・印刷	74.76%	-2.63%
木材加工	33.38%	76.17%
紙・段ボール	23.74%	13.83%
時計製造	10.64%	26.40%
繊維	8.60%	42.02%

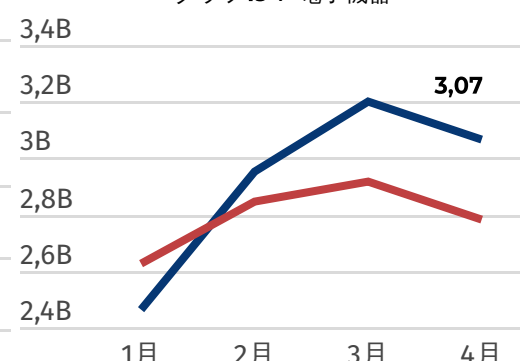
グラフ17：二輪車部門



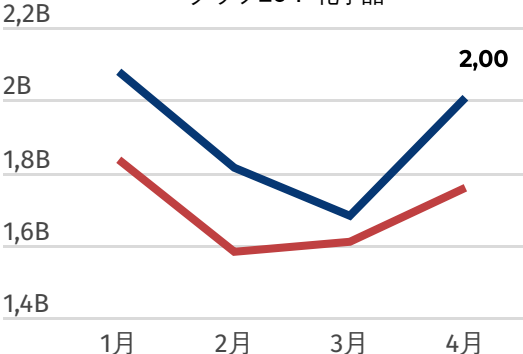
グラフ18：IT関連製品



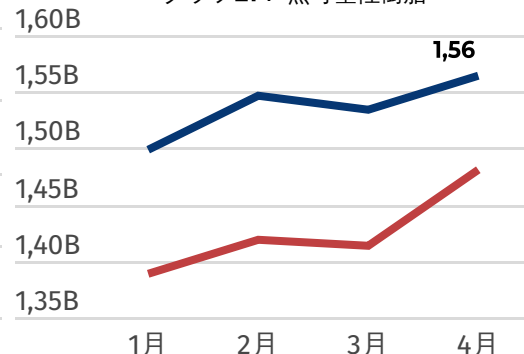
グラフ19：電子機器



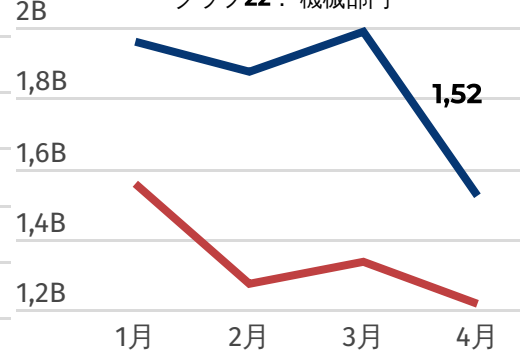
グラフ20：化学品



グラフ21：熱可塑性樹脂



グラフ22：機械部門



生産：表03では、PIMの主要製品の生産データを2025年の最初の4か月と2024年初頭で比較しています。

すべての製品において大幅な成長が見られます。月別の内訳でも、4月において顕著な減少は確認されていません。

4月の売上減少は、主要製品への集中度の上昇、価格の下落、または収益の計上遅延が原因である可能性があります。

輸入：輸入はPIMの売上高を最も即時かつ予測的に示す指標です。グラフ21は、2025年の推移を2024年の月別動向と比較しています。

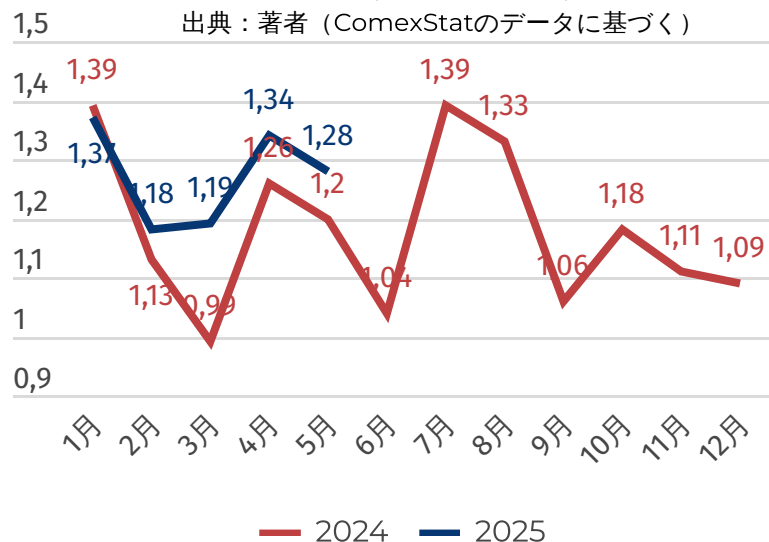
輸入の動きは通常、PIMの売上動向に先行する傾向があります。ただし、本PEAの初版で例外が確認されました。2024年1月は比較基準が膨らんでおり、これは2023年の干ばつによって保留されていた原材料在庫が、当時文書手続き中であったためです。

表03：主要製品の生産数量

製品	2024年1～4月	2025年1～4月	増減率
オートバイ	625,294	1,055,183	69 %
エアコン			
スプリットタイプ	1,875,633	3,305,249	76 %
コンデンサー	288,160	1,311,448	355 %
エバポレーター	321,963	1,448,814	350 %
窓用タイプ	152,957	224,404	47 %
プリント基板	14,511,727	16,597,744	14 %
携帯電話	4,740,703	5,366,246	13 %
テレビ	4,462,591	7,018,253	57 %

グラフ23：マナウス工業地帯（PIM）の輸入額
FOB（10億米ドル単位）

出典：著者（ComexStatのデータに基づく）



最新の更新によると、5月におけるPIMの輸入額は4.5%減少し、12億8,000万米ドルとなりました。これは、工場が第2四半期の生産ピークに向けて体制を整えるために生産を抑える、この時期特有の動きです。

続いて表04では、各部門の原材料調達に基づいたプロファイルを示しています。これはマナウス工業地帯の生産構造がいかに多様であるかを示すものです。電子機器や情報機器など一部の分野は輸入依存度が高い一方で、二輪車部門などは地域内での垂直統合が進んでおり、輸入量は比較的少なくなっています。

原材料の供給元はすべての大陸にまたがり、PIMは世界各国の比較優位と連携しています。付加価値に応じてあらゆる輸送手段を活用し、地域の港湾・空港の高い処理能力に依存しています。

各生産構造は、常に新たなビジネス戦略に対応可能な、生産チェーンの最適化と強化の機会を示しています。地域生産、国内他州からの調達、あるいは輸入の比率は、主に産業貿易省によって定められる「基本生産工程（PPB）」により決定されます。

PPBは企業からの要請により変更が可能であり、供給可能性と生産チェーン強化の必要性のバランスをとる根拠が求められます。このプロセスでは、CIEAMも会員企業を力強く支援しています。

表 04：主な原材料、部門別（2025年1月～4月）

原材料			
IT・電子機器			
LCDモジュール	651	中国（80％）	海上輸送（98％）
SMDプロセッサ	603	中国（32％）、ベトナム（22％）、台湾（18％）	航空（86％）
メモリ・チップセット	231	中国（45％）、台湾（26％）、韓国（12％）	航空（84％）
携帯電話関連品			
二輪車部門			
オートバイ部品			
機械部門			
モトコンプレッサー			
熱可塑性樹脂			
低密度エチレン	130	米国（88％）	海上輸送（100％）
低密度ポリエチレン			
化学品			
パラジウム粉末	151	南アフリカ（61％）、ベルギー（26％）	航空（100％）
ロジウム	86	ベルギー（53％）、南アフリカ（43％）	航空（100％）

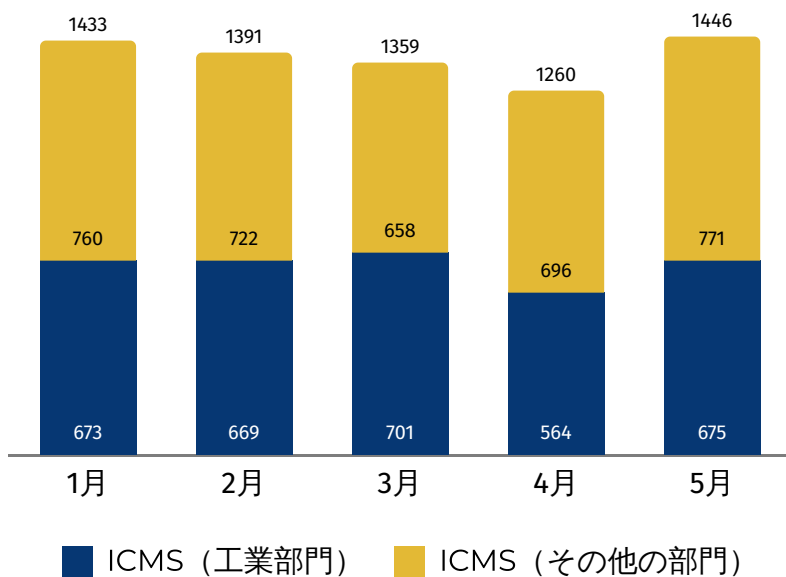
税収

マナウス・フリーゾーンは、地域の事業活動に対して完全な免税を行うモデルではありません。むしろ、投資家にとっての魅力を提供する一方で、高いガバナンス要件を満たし、連邦政府、アマゾナス州政府、マナウス市のための強固な税収基盤を形成しています。ここでは連邦および州レベルに焦点を当てています。

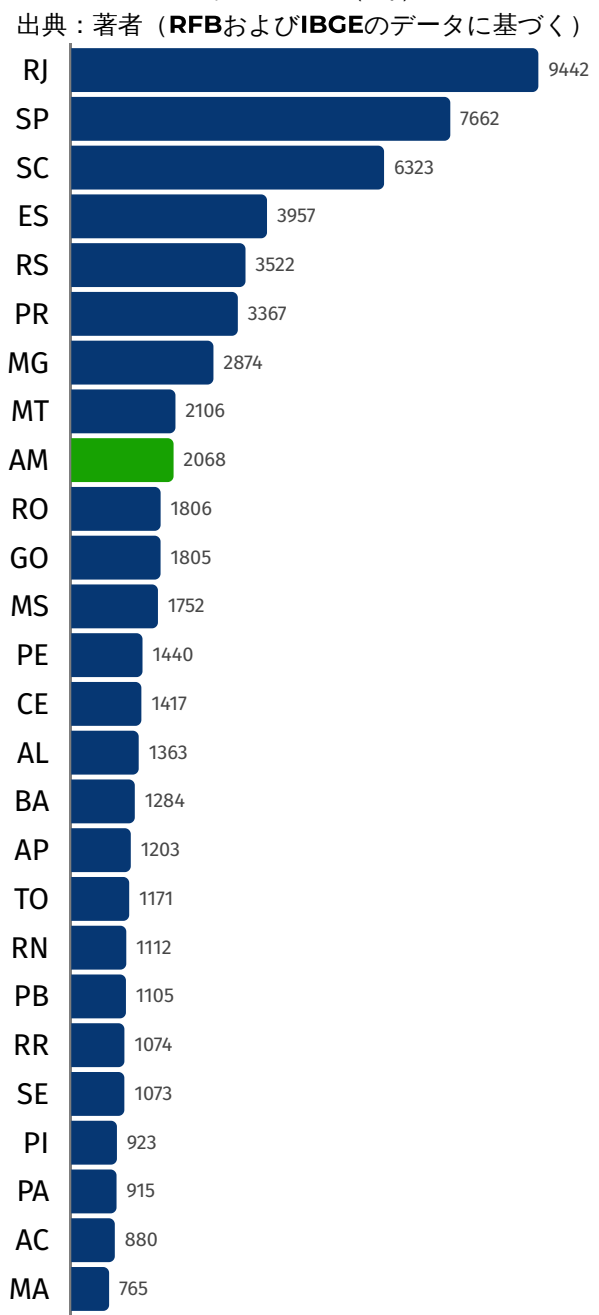
PIMは、アマゾナス州の主要州税であるICMSの税収全体の47%を占めています。2025年5月には、ICMSの税収が過去2番目に高い水準となり、総額は14億4,600万レアルに達しました。

連邦税収に関しては、PIMのおかげでアマゾナス州は北部および北東部地域の州の中で1人あたりの納税額が最も高くなっています。2025年の最初の4か月間で、アマゾナス州の住民一人当たり平均2,068レアルを連邦政府に納税しており、連邦直轄区を除けば全国で9位に位置しています。

グラフ25：2025年 アマゾナス州のICMS税収
出典：著者（Sefaz-AMのデータに基づく）



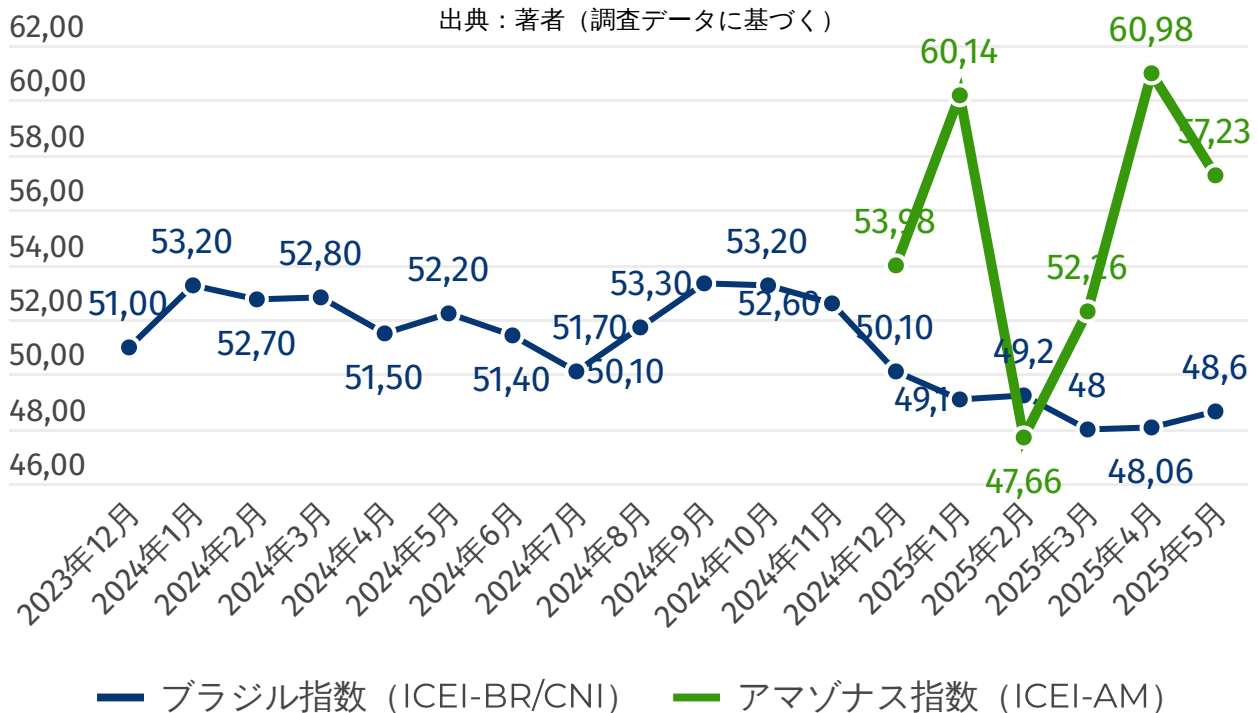
グラフ24：1人当たり連邦歳入ランキング（連邦直轄区除く）
単位：レアル（R\$）



産業信頼感調査

CIEAMに所属する産業経営者や幹部を対象に実施された第6回アマゾナス産業信頼感調査（ICEI-AM）の結果を紹介します。この調査は、全国レベルでCNIが算出する指標と比較する目的も含まれています。今回の結果では、アマゾナスの指数は57.23となり、国内産業全体（指数48.60、依然として悲観的領域）の水準を再び上回りました。この動きは、ブラジル国民の可処分所得の継続的な増加と、PIMが新たな市場を開拓していることに伴っています。

グラフ26：CIEAM信頼感調査
出典：著者（調査データに基づく）



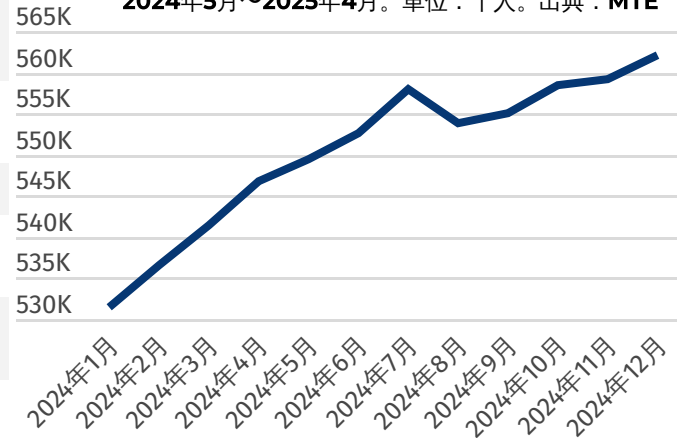
正式雇用

最近の発表によると、雇用水準もマナウス工業地帯への投資家の信頼を再確認する指標のひとつとなっています。ここ2年間、正式雇用の増加はほぼ途切れることなく続いています。

直近のデータ（4月）では、アマゾナス州の製造業で13万2,000件の直接雇用があり、1,135件の増加が記録されました。電子機器および情報技術分野での採用増（合わせて291件）は、これらの分野の活動が今後も堅調に推移することを示唆しています。

表 05：正式雇用者数の在庫（Caged）、出典：MTE

2024年4月	2025年3月	2025年4月	4月増減（対3月）	4月増減（対前年）	
アマゾナス州	527,890	559,224	562,001	0.50%	6.46%
製造業	121,127	131,080	132,233	0.88%	9.17%
電子機器・IT	30,287	31,794	32,084	0.91%	5.93%
二輪車・造船	19,656	21,257	21,614	1.68%	9.96%

グラフ 27：正式雇用のストック推移
2024年5月～2025年4月。単位：千人。出典：MTE

産業振興、CIEAM人材委員会

最近の雇用データの推移は、CIEAMが加盟企業のために行っている取り組みの成果が明確に表れる経済指標の一つです。

ヴァレ・ヴィルジニア氏の指導のもと、人事委員会は軍隊および海軍セクターの加盟企業と連携し、義務兵役を終えた若者たちを産業界に速やかに吸収する仕組みを整えました。

画像：海軍部門の加盟企業への兵役経験者の統合
出典：CIEAM人材委員会

二輪車および海軍部門での357人の雇用増加（現在の直接雇用数は21,614人）は、この取り組みの成果の一部として評価できます。

約50名の若者が1年間の兵役を終えた後、即座に加盟企業に雇用され、MIG/MAG方式の海軍用溶接に関する完全なトレーニングを修了しました。

これはパイロットプロジェクトであり、その明らかな成功により、全業種の加盟企業に向けて拡張可能となります。今後は人材の量・質ともに供給を増加させ、この分野がアマゾナス産業の競争力を高める重要な要因となることを期待しています。

CIEAM委員会

アマゾナス州産業の発展を使命とするCIEAMは、主にそのテーマ別委員会の活動を通じて加盟企業に貢献しています。本PEAの締めくくりとして、雇用数に大きな影響を与えたCIEAM人材委員会の取り組みを紹介します。以下は、2025年前半に行われたCIEAM各委員会の会合と議題の一覧です。

CIEAM人材委員会 - コーディネーター：ヴァレ・ヴィルジニア

- 1月28日 - 職場のメンタルヘルス：NR-1の改正と優良実践の認証
- 1月28日 - 新NR-1指針に基づく心理社会的リスクと危険の管理
- 6月17日 - アマゾナス州産業の発展に向けたSENAI-AMの活動

CIEAM開発・イノベーション委員会 - コーディネーター：マリアナ・バレーラ

- 2月13日 - 委員会の年間計画
- 3月13日 - AIと企業のデジタル変革
- 5月8日 - イノベーションテーマの最新情報
- 5月22日 - 第1回イノベーション対話：アマゾナスのイノベーション環境をどう改善するか？
(競争力委員会との合同)
- 7月3日 - 第2回イノベーション対話：アマゾナスのイノベーション環境をどう改善するか？
(競争力委員会との合同)

CIEAM税務委員会 - コーディネーター：モイゼス・シルバ

- 2月28日 - 税制改革の成果の要約
- 3月27日 - 税制改革：ZFM産業への主な影響
- 4月24日 - 消費税改革：電子サービス請求書の調整
- 6月9日 - EFDの正規化に関する警告
- 6月30日 - 税制改革：スフラマによる規制と管理

CIEAM法務委員会 - コーディネーター：レベッカ・ガルシア

- 2月27日 - 2025年立法アジェンダ
- 6月16日 - 新IOF規則（税務委員会との合同）

CIEAMエネルギー移行委員会 - コーディネーター：ロナウド・ジェルデス

- 3月14日 - アマゾンで起業すること：歴史と将来展望

CIEAM物流委員会 - コーディネーター：アウグスト・ホシャ

- 3月25日 - 浚渫と潜在的干ばつに関する最新情報
- 3月25日 - 工業地区における車両流動の改善
- 7月1日 - 2025年干ばつの見通し

CIEAM国際貿易委員会 - コーディネーター：セリオマール・ゴメス

- 5月21日 - DrawBack制度
- 6月24日 - マナウスフリーゾーンの通関業務

CIEAM ESG委員会 - コーディネーター：レジア・モレイラ

- 6月10日 - 廃棄物管理の課題とより効率的かつ責任ある処理への道筋

CIEAM競争力委員会 - コーディネーター：アウグスト・ホシャ

- 5月22日 - 第1回イノベーション対話：アマゾナスのイノベーション環境をどう改善するか？
(イノベーション委員会との合同)
- 7月3日 - 第2回イノベーション対話：アマゾナスのイノベーション環境をどう改善するか？
(イノベーション委員会との合同)